

『フルスペックハイビジョンについて』

地デジ対応の薄型テレビも手頃な価格になり注目が集まっています。そういった中、最近**フルスペックハイビジョン対応テレビ**という言葉をよく耳にします。今回はこのフルスペックハイビジョン(フルHDとも表記されることもあります。)について紹介します。

デジタルハイビジョン放送の解像度は、水平 1920 × 垂直 1080 画素という高画質で放送されています。しかしながら従来のハイビジョンテレビでは、一般的に水平 1024 × 垂直 720 画素前後の解像度パネルが使われており、実際のハイビジョン映像の約半分以上もの情報を捨てて表示しています。フルスペックハイビジョンであれば水平 1920 × 垂直 1080 画素なので、ハイビジョン信号を間引くことなく高画質映像のまま表示ができます。また、従来のテレビは走査線が 480 本だったのに対し、フルスペックハイビジョンは 1080 本になるために倍以上のきめ細かい映像が楽しめます。

そもそもハイビジョンテレビというのは、元々フルスペックハイビジョンを実現できなかった時期に発売された 16:9 の薄型ワイドテレビの呼び名であり、実際にはハイビジョン放送の完全な映像を表示しきれないものでした。

技術も進歩し家庭でも完全なハイビジョン映像を楽しめるようになったため、以前のハイビジョンテレビと区別をするために完全にハイビジョン放送を表示できるテレビのことをフルスペックハイビジョンと呼ぶようになったのです。

画面が大きくなればなるほど細かい部分も見えてくるので、フルスペックハイビジョンのような細部まで表現できるテレビでないと大画面の薄型テレビの場合は、ハイビジョン放送のメリットを活かしきれないのです。これはデジカメとまったく同じで、画素数が増えれば、画面を大きくしても、画像がきめ細かく見えるのです。

今、大画面の薄型テレビの購入を予定しているのであれば、ぜひ、フルスペックハイビジョンテレビを検討してみてくださいはいかがでしょうか。

